

「子どもが**選択** 最適な**学び**」

子どもが自分に**最適な学び**を**自己調整**できるよう、教師は様々な「**学びの選択肢**」を豊かに提供する。

「学びの選択」とは？

得意な**分野・領域**の選択

一人一人の子どもに、「得意とする**分野あるいは領域**」を追求する機会を保障することで、将来の進路選択やキャリア形成の基礎を養っていきます。

また、学習内容についても、**自己の興味・関心や能力**に応じて**選択**できる機会を提供することが、個性を伸ばすことにつながります。



なぜ「学びの選択」が必要？

多様化する子どもの実態

発達障害
の可能性のある子供

特異な才能
のある子供

不登校・不登校傾向
の子供



家庭の文化資本
の違い

家で日本語を話す頻度
の違い

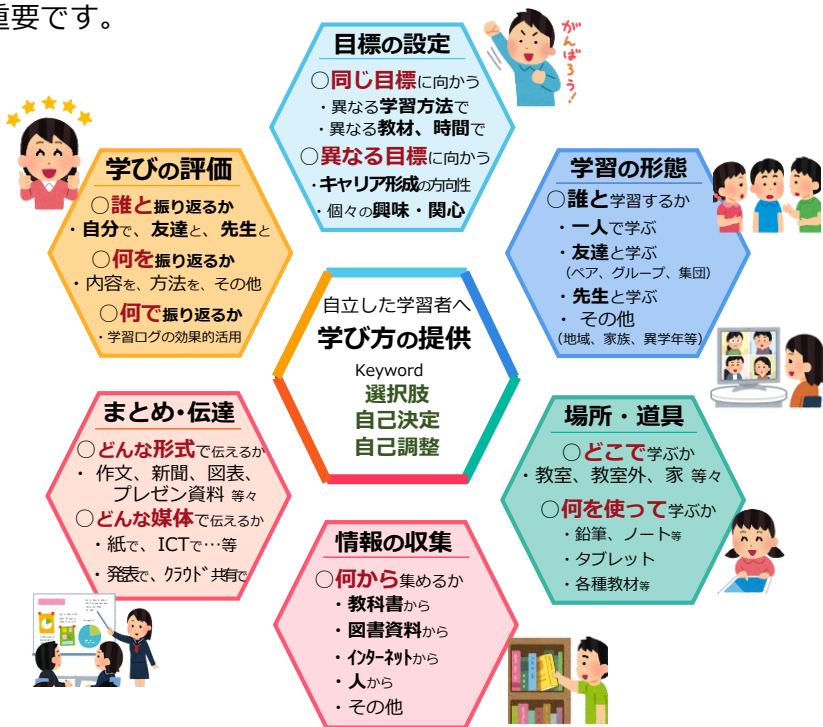
子供たちの**特性**や**関心・意欲**は様々

子どもたちが多様化する中で、教師一人による紙ベースの一斉授業スタイルは限界に…。

どのように取り入れるの？

子どもたちに「**学び方**」を提供する6つの視点

一人一人の子どもが、多様な**選択肢**の中から、**自分に最適な「学習方法、学習時間、教材等」「学習形態、学びの筋道等」**を**自己決定**し、**学びを自己調整**する経験を、積み重ねることが重要です。



得意な**追求の仕方・やり方**の選択

誰と、どこで、何で学習するか等、**追求の仕方・やり方**にも得手・不得手があります。

自分の**得意な学び方**を知り、**学びを調整**しながら、**最適な学び**を実現できるようになることをめざします。

教師には、様々な**教材や学習の形態、学びの筋道やメディア**を用いた**学び方の提供**が求められます。



そろえる教育 から **伸ばす教育** へ

一人一人が個性を伸ばせるよう、自らに最適な「**学び方**」を**自己調整**する力が求められています。

資質・能力重視の教育課程への転換

教師による一斉授業	主体	子ども 主体 の学び
同一学年で	学年	学年に関係なく
同じ教室で	空間	教室以外 の選択肢
教科ごと	教科	教科等横断・探究
教える	教師	コーディネート
同質・均質な集団	教職員組織	多様な人材・協働体制



Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ (2022年6月2日)

令和の日本型教育は、「一人ひとりが多様な幸せ (Well-being) を実現できる社会」を目指すための取り組みであることが分かります。「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の重要性を理解する上で、p10の「認識すべき教室の中にある多様性・子供目線の重要性」、p23の「子供の特性を重視した学びの『時間』と『空間』の多様化」は、必読です。



個別最適な学びとの関連

ある子は、基本的な学習内容を理解するために、友達と相談しながら教科書を用いて学習している。ある子は、発展的な課題に、一人でタブレットを用いて挑戦している。1つの授業の中で、一人一人に最適な学びが入り混じって展開される状態を目指します。